学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
保健体育	保健（　保健②　）	1	2	なし

使用教科書	副読本等
大修館書店　現代保健体育	大修館書店　現代保健ノート

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教科書・ノート		○				○		

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的には教科書を用いるが、新聞などの資料を用いたり日常生活での具体的な実例を示し生徒が興味を持ち理解できるよう心がける。

2．学習の到達目標

健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断	c：運動の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。		運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	出席状況・授業態度など	ノートや授業プリント		定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
4月 ～ 5月 中旬	現代社会と健康	１７、 交通事故の現状と要因 １８、 交通事故を防ぐために	○ ○			○ ○	a、交通事故に関わるさまざまな問題を理解することができているか。 d、交通事故の知識を理解することができているか。	定期 考査や ノート、授業への取り組みなどを総合的に評価する。
5月 下旬 ～ 7月		１９、 応急手当の意義と日常的な応急手当 ２０、 心肺蘇生法の原理と手順 ２１、 心肺蘇生法のおこない方	○ ○ ○			○ ○ ○	a、日常的な応急手当に関わるさまざまな問題を理解することができているか。 d、応急手当の知識を理解することができているか	定期 考査や ノート、授業への取り組みなどを総合的に評価する。
8月 下旬 ～ 10月 上旬	生涯を通じる健康	１、 思春期と健康 ２、 性への関心、欲求と性行動の選択 ３、 妊娠、出産と健康	○ ○ ○			○ ○ ○	a、思春期に関わるさまざまな問題や性に関することを理解できているか。 d、生涯の各段階に応じた自己の健康管理ができているか。	定期 考査や ノート、授業への取り組みなどを総合的に評価する。
10月 中旬 ～ 12月		４、 避妊法の選択と人工妊娠中絶 ５、 結婚生活と健康 ６、 加齢と健康	○ ○ ○			○ ○ ○	a、妊娠や自己の家族計画を立てさせることを理解できているか。 d、生涯の各段階に応じた自己の健康管理ができているか	定期 考査や ノート、授業への取り組みなどを総合的に評価する。
1月 ～ 2月		７、 保健サービスとその活用 ８、 医療サービスとその活用 ９、 健康で安全な社会づくり	○ ○ ○	○ ○ ○			a、社会生活についてを理解できるようにする。自己の健康生活に応用できているか。 b、生涯の各段階に応じた自己の健康管理ができているか	定期 考査や ノート、授業への取り組みなどを総合的に評価する。